

《東京バロック・スコラーズ／第8回演奏会》 「マタイ受難曲」に寄せて

指揮者／三澤 洋史



カップリング講演会
／講師
磯山 雅

国立音楽大学教授、日本音楽学会会長。専攻はバッハを中心とするドイツ音楽史。主要著作に『マタイ受難曲』『バッハ／カンタータの森を歩むⅠ、Ⅱ、Ⅲ』（東京書籍）、『J.S. バッハ』（講談社現代新書）、『バロック音楽』（NHKブックス）、『モーツァルト／二つの顔』（講談社選書メチエ）、『バロック音楽名曲鑑賞事典』『モーツァルト＝翼を得た時間』（講談社学術文庫）、『救済の音楽』（音楽の友社）などがある。

《マタイ受難曲》に取り組むとき、人は、大いなる感慨にとられるものようです。東京バロック・スコラーズ（TBS）の皆さんもそうでした。カンタータを、ミサを、モテットをあれほどの高いレベルで歌ってこられたTBSの方々が、《マタイ受難曲》に対して格別の意欲を燃やし、勉強を重ねてコンサートに臨もうとしておられる様子に接すると、名曲が人を揺り動かす力の大きさに、思いをいたさざるを得ません。

《マタイ受難曲》は、バッハ自身にとっても、特別な作品でした。バッハが美しく清書した自筆スコアを見ても、それがわかります。そこには、合唱と合奏を2つのグループで使う音楽の構想が整然と書きこまれているばかりでなく、聖書の言葉が赤インクで記入され、地震や十字架、涙や鶏鳴が、音符の姿を通して、目に見えるように描き出されているからです。それが音として響き、深い慈愛となって流れ出るさまに、ともに立ち会いたいと思います。



新国立劇場合唱団指揮者。1999年より2003年まではパイロイト音楽祭にて祝祭合唱団の指導スタッフの一員として活躍。バッハには深く傾倒しており、「21世紀のバッハ」を追求するために2006年1月、「東京バロック・スコラーズ」を立ち上げ、音楽監督に就任。これを核に「今」を生きる人と音楽の輪を広げている。



福音史家・
テノール／畑 儀文

兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。小林道夫の伴奏による初リサイタルを行う。1991年オランダ・アムステルダムで有名なバロック歌手マックス・ファン・エグモントのもとで研鑽を積む。以後オランダ各地で毎年受難週に

は、エヴァンゲリスト（福音史家）として招かれ、近年はドイツ・ライブツイヒにおいてバッハ作品のソロを務める。シューベルトティアーデ・ジャパン代表、丹波の森国際音楽祭シューベルトティアーデたんぼプロデューサー。



イエス／浦野 智行

東京藝術大学でホルンを専攻後、声楽に転向。

日本音楽コンクール、奏楽堂日本歌曲コンクールなど入賞歴多数。透明かつ柔らかい声と透徹したテクニクで、安定した歌唱をみせ、オペラ、オラトリオの分野で活躍。歌曲にも力を注ぎ、特にロシア歌曲で評価が高い。バッハ・コレギウム・ジャパンの声楽メンバーとして「イエス・キリストの十字架上の七つの言葉」「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」、カンタータプロジェクト等のソリストとして活躍中。



ソプラノ／
國光 ともこ

武蔵野音楽大学卒業、愛知県立芸術大学音楽研究科修了。新国立劇場オペラ研修所修了後、文化庁在外派遣研修員としてイタリアに留学。帰国後は新国立劇場に「フィガロの結婚」、「ペレアスとメリザンド」、「パルジファルとふしぎな聖杯」などで

出演するほか、コンサートソリストとしても「メサイア」、「口短調ミサ」、「レクイエム」（モーツァルト、フォーレ）等で在京主要オーケストラと数多く共演している。



アルト／
高橋 ちはる

東京藝術大学大学院修士課程及び博士後期課程修了。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科研究科修了。第15回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。第79回日本音楽コンクール入選。第10回中田喜直記念歌曲コンクール大賞並びに中

田喜直賞（第1位）受賞。ベートーヴェン「第九」、バッハ「クリスマス・オラトリオ」等に出演。文化庁助成・日本演奏連盟主催によるリートリサイタルを開催。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。



バス／藪内 俊弥

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。第12回日仏声楽コンクール第2位入賞。

「藝大メサイア」、「第九」、モーツァルト、フォーレレクイエム、バッハ「口短調ミサ」ソリスト、「マタイ受難曲」イエス、バスソロ、「ヨハネ受難曲」バスソロ等様々な宗教曲のソリストを務める。2011年4月、「ランメルモールのルチア」エンリーコで、ルーマニア国立コンスタンツァ歌劇場にゲスト出演した。



コンサート
マスター／近藤 薫

東京藝術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学院修士課程修了。在学中から国内様々なオーケストラにゲスト・コンサートマスターとして出演。ローマ・サンタチェチーリア管弦楽団首席チェロ奏者のルイーダ・ピオヴァーノ氏の招聘で、イタリア・ランチャーノ音楽祭に講師として参加するなど、後進の指導にも当たる。2004～10年、東京フィルハーモニー交響楽団1stヴァイオリン・フォアシュピラー。2011年～九州交響楽団コンサートマスター。



合唱：東京バロック・スコラーズ
管弦楽：東京バロック・スコラーズ・アンサンブル

三澤洋史のもとで「21世紀のバッハ」を追求しようという志を共有する合唱団と管弦楽団。合唱団はオーディションによって選ばれたアマチュア、アンサンブルは一流のプロ奏者からなる。演奏のみならず、公開レッスンや講演会など、多角的な活動を行っている。また、バッハを愛好する個人や団体とのネットワークを広げ、バッハ探求のセンターとなることを目指している。

「団員募集 — バッハと一緒に歌いませんか？」

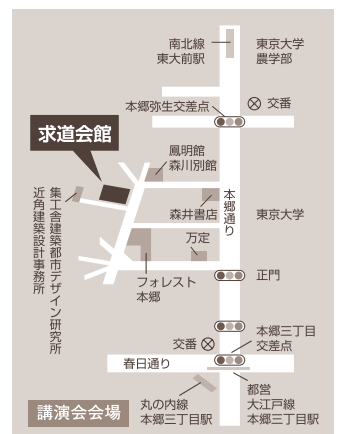
東京バロック・スコラーズでは、毎回演奏会終了後に、一緒にバッハを楽しみ、ステージを作り上げていく仲間を募集しています。次の入団オーディションは2012年7月以降の予定です。詳しくはホームページのオーディションページをご覧ください。

すみだトリフォニーホール



〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3
TEL 03-5608-5400 (代)

求道会館



〒113-0033 東京都文京区本郷6-20-5
TEL 03-6804-5282